

キャラクター名
五浦 勇助

プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー		ワークス	記者	カヴァー	ジャーナリスト
	パロール					
オプション			年齢	28	性別	男
覚醒	感染	衝動	殺戮	初期侵食率	32	%
出自	親戚と疎遠	経験	永劫の別れ	邂逅	幼子	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	1	0	0			1	行動値	10
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	10
精神	3	1	0			4	戦闘移動	15
社会	1	0	0			1	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	3		交渉	1	
回避			知覚	1		意志			調達		
運転:	2		芸術:			知識:	2		情報:ウェブ	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:裏社会	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
五浦 優愛	P 庇護	N 悔悟		
親戚	P 同情	N 嫌悪		
"ボス"	P 憧憬	N 恐怖		
亜咲 夢	P 庇護	N 憐憫		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
時間凍結	1	5	イニシアチブ	至近	自身	自動	80	
効果:	メインプロセスを行う(行動済にならない) シナリオ一回							
ブラッドスパイク	2	3	メジャー	至近	範囲(選択)	RC		
効果:	ダメージ[Lv*3]の射撃攻撃 HP3点消費							
コンセントレイト:ブラム=ストーカー	2	2	メジャー	-	-	S		
効果:	C値-[Lv]							
生命吸収	5	4	メジャー	-	単体	S	80	
効果:	ダメージを与えた場合、対象はHPを[Lv*3]点失い、自分はその分回復する シナリオ三回							
鮮血の修羅	3	6	メジャー	-	単体	S	120,殺戮	
効果:	ダメージを与えた場合、クリンナップに[Lv*10]のHPを失う。ただし、自分はHP5点失う							
紡ぎの魔眼	2	1	オート	至近	自身	自動		
効果:	判定ダイス+[Lv]個 ラウンド一回							
時の棺	1	10	オート	視界	単体	自動	100	
効果:	判定直前に使用し、判定を失敗させる シナリオ一回							
血の兄妹	★	1						
効果:								
ディメンジョンゲート	★	3						
効果:								
帝王の時間	★	-						
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「おいっす。俺は五浦勇助! よろしく!」
「あの時こんな力があれば、あいつを助けてやれたのかな。譲らねえだけの力があれば……!」

【詳細】
人助けが好きでジャーナリスト。一人暮らしをしている
オタク趣味があり、可愛い子達がほのぼのした日常を送るアニメや漫画が好き
好きなアニメは『ゆるキャン■』『ご注文はうさぎですね!』『となりの吸血鬼ちゃん』
誰にでも気遣いせず啖呵を切ることができる。また、誰にでもやり直すチャンスはあると思っているが、それはやり直す意思を見せた相手だけ
何故か事情がある子供と引き合うことが多く、そういう子を一時的に保護しては然るべき場所に送り届けることがある
『亜咲 夢』もそういう子供だと思っていた。また、吸血鬼事件も恐れている反面、記事にしたいとも思っている

【更に詳細】
顔も体格も良いが、親戚からは疎まれていた。家庭内に居場所がなかったので、高校生の頃に愛用のカメラと、同じく疎まれていた小学生の妹を連れて独り立ちする。
昔は『情報は立派な武器になる』とちょっと自信過剰なくらい若者だった。だが今は、それが所詮虚飾の力で、自分は本質的に無力だと悟っている
生活を守るために裏社会と繋がりを持っていた過去があり、依頼次第で殺人事件などを揉み消したり、スキャンダルを何時間も粘って撮影したりした。だが、自分の行動で不幸になった人物が多くいたこと、事件現場に向かう度に精神が擦り減っていくことを自覚して、裏との繋がりは全て捨てて現在はフリーで活動している。コネはあるのでジャーナリストとしてはそこそこ
誰にでも啖呵を切れるのはそういう経験上、ヤバい人たちと関わる機会が多くて慣れてしまったため
経験上、まともな人間とまともじゃない人物が何となく察せられる。そのため、保護するのは単なる家出少年や少女ではなく、複雑な事情がある子供ばかりだ。
誘拐で捕まったことがないのもその辺りが関係している
妹『五浦優愛』のことは溺愛していた。しかし、あるとき勇助への報復として目の前で私刑にされ、半ば人質として拉致されてしまった。明るく振舞っているが